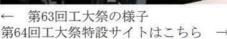
第 64



いト今 ますので、万障お過 下とそれを運営する 下とそれを運営する 工大祭当日 (12 工大祭当日 (12 で回、明専会報の紅 で回、明専会報の紅 る紙戸 工面畑 合けは、 学を・ 部お飯の借塚 実りの の明 行し両 で、第44 を員会に ぜひご来学ください。 つ回ス い工で 大工 と皆様にごれた祭が開 畑開 一案内させて 畑でのイベン も開 され





12 日

(土)

- · 実行委員1回生企画①
- 前夜祭
- ・スペシャルゲストトークショー (記念講堂で開催予定)

13

日

- 実行委員1回生企画②
- 後夜祭
- ・ロボットコンテスト (中村記念館で開催予定)

- 学科展
- 模擬店
- サークル展
- 野外ステージでのパフォーマンス
- スタンプラリー・よいこのかがくじっけん (子ども向け講座)

両 日

そもそも工大祭実行委員会は何をしているのか?

工学部(戸畑)の工大祭実行委員会は、工大祭全体の指針を定める「計画」、それに基づいて企画を考える「立案」、実際に実施するための企画書の作成や、パンフレットや公式サイトの製作、広告やご協賛の収集などの「準備」、そして当日の「運営」に至るまで、大学やその他の外部のイベント会社や団体が運営の統括に関わらない、他大学の学園祭実行委員会と比べて圧倒的に自主性の高い組織です。

今回、特にご紹介したいのが、「現場」と呼ばれる役職です。イベントで必ず必要な「音響 (PA)」、「照明」、「電気系統の配備 (配電)」、「映像技術・配信 (映像)」の4つがありますが、これらすべてを学生自らオペレーションする大学は、戸畑だけにしかない (*1) といっても過言ではありません。



【配電】通常、業者に委託 する分野(*2)ですが工大祭 では学生が担います。他の 現場の機材への電力供給に 加え、模擬店にも電気を供 給しています。配線のルー トを考え、実際に敷設する ところまで扱っています。

【音響】イベントにてBG Mを流したり、マイクの調節を行ったりなど、イベント開催に必要不可欠な仕事です。音楽系のオペレーションでは同時に20系統以上のマイクを扱います。

【照明】出演者の登場シーンなどイベントを視覚的に 彩る役割です。可能な範囲 で最新の技術を使い、演出 を行っています。野外ス テージでは日光があっても 効果のある照明演出を目指 しています。

【映像】イベントでの来場 者向けの映像・動画の放映 を行う仕事です。第64回から新たに現場に加わりました。今後、技術の導入を進 め、ハイレベルな演出がで きるようにしていきます。





(*1) 音響・照明は九州大学大橋キャンパスで行っているケースなどがありますが、配電については他大学の情報は確認されておらず日本唯一と考えています。(※当委員会調べ)(*2) 配電については、第26回工大祭で初めて電気系統の整備を行ったOB (有資格者)の指導・監督に加え、九工大内での電気系統の責任者の資格に基づき実施しております。



KOUDAISAI GROW-UP VISION 2024(私たちが目指す工大祭の未来)



工大祭を学生・大学と地域、企業をつなぐ コア [核] に成長させる。

創造領域

コンテンツによる 来場者数増加

情報戦略強化 機材等の増強

基盤領域

工大祭の企画力を向上させ、来場者数の増加を図る。 記念講堂でのゲスト(有名人)による企画や ターゲット層である地域住民や子どもたちが楽しめる企画、 九工大生にとって魅力的な企画を用意する。

ウェブやSNS、チラシ等のプラットフォームを 最大限活用するほか、工大祭が保有する機材を増強し、 コンテンツ強化につなげる。

マーケティング戦略の強化や各種関係機関、団体との連携、 工大祭実行委員会の業務改善を通じた運営・財政基盤の改善を 実施する。

第64回工大祭で目指す両日合計来場者数1万人

に向けて、鋭意準備を進めてまいります

ご支援求む。

- 〇広告協賛
- 〇機材・物品協賛
- ○運営費へのご支援

工大祭の実施にあたり、多くの皆さまからのご支援を求めております。 ぜひご支援を賜りますようお願い申し上げます。 実行委員会一同 詳細は 公式サイト〜



